

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後なかよしサークル		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に合わせての細かい支援の設定	毎月個別の月間目標を設定し、支援の方法を毎日の申し送りにて検討・工夫をしている。	支援方法とモニタリングをさらに詳細な記録に残し、よりより支援方法に繋げていく。
2	季節ごとのイベント	毎年イベントを行いながらも、違う内容になるように案を出し合ってスタッフ一丸となってイベントを企画している。	スタッフそれぞれの得意を生かし、アイデアを組み合わせながら固定化されないイベントの企画をしていく。
3	デイ・家庭・学校などの関係機関の協力体制	送迎時や個別記録以外にも、児発管とご家族が連絡を取りやすい方法を確立している。 学校送迎時などに、相互に現在の支援について確認と相談、支援方法について統一を図っている。	児発管のみではなく、スタッフ個々のスキルアップを行い誰にでも相談しやすい体制をつくっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別活動がメインになってしまうので、休日のみならず放課後でも集団活動の時間を作っていく。	特性上集団活動が苦手な子が多い。	小集団での活動を起案し、特性や課題をよりアセスメントしていく。
2	ご家族への施設開放日が少なく、実際に関わっている様子が見られない。	安全面などの考慮から、設定日が年1回。	家庭状況などによって参加可能日が異なると考えられるので、まずは年2回など少しずつ開放日を増やし、実際の活動の様子を見ていただける機会を増やしていく。
3	お迎え送迎の時間帯にスタッフが少なくなってしまう。	お迎え先が多く、時間帯もバラバラなのでまとまった送迎が難しい。	当日の申し送りにてフロア滞在のスタッフの連携方法、事前の準備をしっかりと確認し、なかよくくらぶとも連携して支援していく。